

省工事  
交注工  
国発

# 経常JVの登録急減

## 加算措置廃止が影響

国土交通省発注工事の競争参加資格登録業者の減少。経常JVの登録数が激減していることが明らかになった。4月1日時点の登録JV数をみると、06年までは少ない年でも3000JV以上の登録があったが、07年4月1日時点で登録して

た経常JVは714と急減した。複数工種にまたがる重複分を除いた実数が目的の経常JVがあまりにも多かった（官房地方課と分析している）。こうした実態は同省が10月29日に公表した直轄工事等契約関係資料で明らかにした。4月1日時点の経常JVの登録数

とみられ、同省は「従来はメリットの享受だけが目的の経常JVがあまりにも多かった」（官房地方課と分析している）。こうした実態は同省が10月29日に公表した直轄工事等契約関係資料で明らかにした。4月1日時点の経常JVの登録数

年766、06年1755、07年222だった。同省の競争参加登録の更新は2年に1度行われ、07年4月1日は07・08年度分の有資格日の初日に当たる。年度途中で追加登録もあることから、偶数年の4月1日の登録者数の方が多い傾向にある。

経常JVは中小・中堅建設業者が継続的協業関係を確保し、経営力・施工力を強化する目的で結成。業界再編につながる」と期待され、同省は競争参加資格審査時に客観・主観点数それぞれについて10%の加算措置を行っていたが、不公平感があ

るとの指摘を受けて06年10月、2年以内に経営統合しない経常JVへの加算措置の廃止を決定。このため本年度からの登録JVの登録がなくなり、C、Dの2等級だけになった。

のあった22JVは、次回登録（09・10年度分）までに経営統合する可能性がある。

地方整備局別の登録経常JV（実数ベース）は東北22、関東12、北陸59、中部24、近畿20、中国14、四国27、九州44。工種別では、一般土木と建築で従来あったB等級の経常JVの登録がなくなり、C、Dの2等級だけになった。

市の発注で総合評価方式が定着していないという不満が多数寄せられた」（福井県建設課）という。「談合決別宣言」が状況を心配する意見も出たという。